

提出日： 2023 年 5 月 29 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
経済学部	教授	土田哲夫

	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。					
研究期間	<table border="1"><tbody><tr><td>1. 2022年4月 1日 ~ 2023年3月31日</td><td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">1</div></td></tr><tr><td>2. 2022年9月 1日 ~ 2023年8月31日</td></tr><tr><td>3. 2022年4月 1日 ~ 2022年9月20日</td></tr><tr><td>4. 2022年9月21日 ~ 2023年3月31日</td></tr></tbody></table>	1. 2022年4月 1日 ~ 2023年3月31日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">1</div>	2. 2022年9月 1日 ~ 2023年8月31日	3. 2022年4月 1日 ~ 2022年9月20日	4. 2022年9月21日 ~ 2023年3月31日
1. 2022年4月 1日 ~ 2023年3月31日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">1</div>					
2. 2022年9月 1日 ~ 2023年8月31日						
3. 2022年4月 1日 ~ 2022年9月20日						
4. 2022年9月21日 ~ 2023年3月31日						
活動報告	<p>研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。</p> <p>1. 2022 年春～夏頃 ・研究課題にかかわる最近の文献の収集と検討を行った。 ・研究課題に関連する、蒋介石等国民党政権の人物史研究(前年から継続)の最終的点検、調整作業を行った。また、日中戦争期、抗日指導者となった蒋介石らについてのみならず、対日協力の道に進んだ汪兆銘の晩年の対日関係についても研究を行った。</p> <p>2. 2022 年秋冬～23 年春(3 月末まで) ・研究課題にかかわる文献、資料を再検討し、また既発表の論文を組み直し、研究課題にかかわる論文集作成の作業にとりかかった。 なお、新型コロナウイルス感染症にかかわる諸制限のため中国語圏への渡航、資料調査等ができず、オンラインによる研究交流を行うに留まった(清華大学で研究会報告、講演各 1 回実施)。</p>					
得られた研究成果について	<p>上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。</p> <p>下記の論文集を作成中で、本文はほぼ完成している。 題名『中国抗日外交と国際世論』 第Ⅰ部 日中戦争と中国抗戦の決断 第Ⅱ部 対米外交と宣伝活動 第Ⅲ部 国民外交：民間団体と国際世論 このほか、上述の蒋介石等国民党政権の人物史の研究は、『アジア人物史』第11巻第5章「中国統一から戦後台湾へ」として刊行された(集英社、2023年4月)。</p>					
今後の計画について	<p>得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。</p> <p>上記論文集原稿は、これまでの研究蓄積をもとに、また国内で入手可能な資料・文献に依拠してとりまとめたものであり、今後、中国等海外での補足的資料調査も行って、改めて内容の充実化に努め、早い時期での出版を目指したい。</p>					